

沖縄県立芸術大学アドミッション・ポリシー

■アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

1 教育の理念

沖縄県立芸術大学の建学の基本的な精神は、沖縄文化が造りあげてきた個性の美と人類普遍の美を追究することにあります。これに基づき、伝統芸術の継承と発展にとどまらず、新たな芸術創造の可能性を広げ、幅広く芸術分野で活躍できる人材を育成していきます。さらに、学生の専門的力を高め、豊かな人間性と社会性を身につける教育を目指します。

2 本学の求める人物像

- ・本学の教育の理念をよく理解し、学習に必要な基礎的知識・技能を備えている人
- ・芸術に強い関心があり、自ら課題を発見し解決するための思考力や判断力、表現力を備えている人
- ・多様な芸術文化に興味を持ち、主体的に人々と協働し、現代社会に向けて新しい芸術創造の営みを発信していく意欲に満ちた人

3 入学者選抜区分

- ・本学では一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜及び社会人選抜を実施します。

4 入学者選抜試験の基本方針と実施

一般選抜においては、大学及び各学部のアドミッションポリシーに基づき、大学入学共通テストの成績を利用した選抜試験と個別学力検査等（実技検査、小論文、口述試験、面接等）を実施します。なお、大学入学共通テストについて、国語、外国語及びその他任意の1科目の合計3科目（国語及び外国語の2教科必須、他の教科から1科目を選択。英語はリスニングテストを含む。）を試験科目として課します。

- ・音楽学部の学校推薦型選抜においては、実技検査、小論文、面接等を実施します。
- ・音楽学部の総合型選抜においては、実技検査、小論文、プレゼンテーション、面接等を実施します。
- ・音楽学部の社会人選抜においては、個別学力検査等（専攻試験、小論文等）を実施します。

いずれの試験においても、本学での学習に必要な「学力の3要素（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等）」を測り評価します。

音楽学部アドミッション・ポリシー

■アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

大学の教育理念に基づき、沖縄県立芸術大学音楽学部では、沖縄で育まれた個性ある音楽・芸能及び普遍的価値を持つ音楽芸術の体系的な研究を通じ、それらの継承発展とともに新たな芸術創造に寄与できる人材育成を目指します。そのために、専門分野における知識・技能を深めるとともに、広い視野を持って思考し、問題解決を行うために必要な教養を身につける教育を行います。

【求める人物像】

音楽学部の教育を達成するために、次に掲げる知識・技能や能力(思考力・判断力・表現力等)、目的意識・意欲等を備えた人材を求めます。

1. 本学及び音楽学部のポリシーを十分理解し、大学での学習に自律的に取り組むことのできる人
2. 音楽学部における学習に必要な基礎的知識・技能及び課題解決のための思考力・判断力・表現力を備えている人
3. 自身の知識・技能をさらに伸ばし、将来、演奏家、作曲家、実演家、研究者又は教育者など、音楽・芸能分野における専門家となる意欲のある人
4. 芸術創造の営みについて、現代社会との関わりの中で思考し、主体性を持って多様な人々と協働する意欲のある人
5. 音楽や舞踊、沖縄における芸術文化や本学での学びに関心がある人

【入学者選抜試験の基本方針と実施】

音楽学部においては、学部の教育理念を踏まえ、各専攻の専門性に沿った試験を課し評価します。その際、大学入学前に学んでおくべき内容・水準について、募集要項と併せて公表する『試験曲』によって明示するものとします。また、専攻ごとに設定された多様な入試科目において、学力の3要素（「基礎的な知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性・多様性・協働性」）を総合的に評

価します。なお、入試区分及び募集枠ごとに、総合点に基づき合格者の選抜を行います。

各入試区分における評価方法は以下の通りです。

1. 一般選抜では、大学入学共通テストにおいて国語、外国語（英語はリスニングテストを含む。）及び任意の1科目の合計3科目を課し、大学での学習に必要な知識・技能、思考力等を測り評価します。また、個別学力検査等において、専攻試験（実技検査、小論文、口述試験等）、音楽に関する基礎能力検査（楽典、聴音、新曲視唱、副科ピアノ等）及び面接を課し、専門分野における基礎的能力、主体性及び将来性を測り評価します。本区分においては、全般的な学習能力について総合的に評価します。面接においては多面的・総合的な評価を行うために、調査書及び志願者本人の記載する資料等を活用します。
2. 学校推薦型選抜では、専攻試験（実技検査、小論文、口述試験等）、音楽に関する基礎能力検査（楽典、聴音、新曲視唱、副科ピアノ等）及び面接を課し、大学での学習に必要な知識、技能及び主体性等を測り評価します。本区分においては、専門分野における高い能力、調査書及び志願者本人の記載する書類等をもとに実施する面接等における評価を重視します。また、高等学校長からの推薦書を活用します。
3. 総合型選抜では、専攻別に設定する専攻試験、プレゼンテーション及び書類審査・面接を課し、大学での学習に必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力等を測るとともに、本人の能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を総合的に評価・判定します。また、多面的・総合的な評価を行うため、面接等において、調査書及び志願者本人が記載する書類等を活用します。
4. 社会人選抜では、専攻試験（実技検査、小論文、口述試験等）を課し、大学での学習に必要な知識、技能、思考力及び主体性などを測り評価します。本区分では、専攻実技の習熟度及び小論文・口述試験の内容を重視し評価します。

<音楽学科>

◆音楽表現専攻

【求める人物像】

- ・音楽に興味と探究心を持ち続けられる人
- ・音楽を通して自己を表現したいと考える人
- ・音楽を通して豊かな人間性を身につけ、社会に貢献したいという意欲のある人

【入学前に身につけてほしい学習成果】

- ・各専門分野における基礎的な実技能力。正しく楽譜を読み書きができ、自己の表現したいものを適切に演奏または書き表すことができること
- ・音楽の基礎的能力（楽典・聴音・ピアノ）
- ・高等学校の教科科目を通して修得した基礎知識と語学力

【入学者選抜区分】

- ・音楽表現専攻では一般選抜、学校推薦型選抜及び総合型選抜を実施します。

【入学者選抜試験の基本方針と実施】

1. 一般選抜

- ・専攻試験（実技検査）では、大学での学修に必要な技術および表現力を審査します。複数の審査員が個々に採点し、集計した結果により評価を決定します。
- ・専攻試験に加え、音楽の基礎能力検査（楽典・聴音・ピアノ）と大学入学共通テスト（国語及び外国語の2教科必須、他の教科から1科目を選択。英語はリスニングテストを含む。）、面接の結果を総合して合否を判定します。

2. 学校推薦型選抜

- ・本学を専願し、本学および志望専攻に対し高い志望動機・意欲を有している人を対象とします。
- ・専攻試験（実技検査）では、演奏または作曲の基本的な技術および表現力を審査します。複数の審査員が個々に採点し、集計した結果により評価を決定します。
- ・専攻試験に加え、音楽の基礎能力検査（楽典・聴音・ピアノ）と面接（出願書類を含む）により、高等学校において身につけた学力、思考力、コミュニケーション力等を総合的に評価し、合否を判定します。

3. 総合型選抜

- ・本学および志望専攻に対し、高い志望動機・意欲を有している人を対象とします。
- ・専攻試験（実技検査等）では、音楽に対する自己表現力を審査します。複数の審査員が個々に採点し、集計した結果により評価を決定します。
- ・専攻試験に加え、プレゼンテーション、面接、入学志願者本人が記載する資料を総合して合否を判定します。

◆音楽文化専攻

【求める人物像】

- ・過去から現在、未来の世界中の音楽や芸能と文化に知的好奇心と探究心を持つ人
- ・音楽や芸能と文化についての調査や研究に必要な基礎能力を備えている人
- ・音楽や芸能と文化への理解を自らのことばで的確に表現したい人
- ・音楽や芸能の調査や研究、マネジメント実践を通して視野を広げ、社会性を身につけたいという意欲のある人

【入学前に身につけてほしい学習成果】

- ・論理的な思考による構成、独創的な発想に基づく表現により、説得力のある文章を書く能力
- ・音楽の基礎的能力
- ・高等学校の教科科目を通して修得した基礎知識と語学力

【入学者選抜区分】

- ・音楽文化専攻では一般選抜、学校推薦型選抜及び総合型選抜を実施します。

【入学者選抜試験の基本方針と実施】

1. 一般選抜

- ・専攻試験では、音楽や芸能と文化についての調査や研究に求められる資質、学力、文章表現力を審査します。受験者の論述を複数の審査員が個々に採点し、集計した結果により評価を決定します。
- ・専攻試験の結果に加えて、音楽の基礎能力試験（音楽学コースは、楽典・聴音・ピアノ。沖縄文化コースは楽典・音楽または舞踊の実技）と大学入学共通テスト（国語及び外国語の2教科必須、他の教科から1科目を選択。英語はリスニングテストを含む。）、面接の結果を総合して合否を判定します。

2. 学校推薦型選抜

- ・本学を専願し、本学および志望専攻に対し高い志望動機・意欲を有している人を対象とします。
- ・専攻試験では、音楽や芸能と文化についての調査や研究に求められる資質、学力、文章表現力を審査します。受験者の論述を複数の審査員が個々に採点し、集計した結果により評価を決定します。
- ・専攻試験に加え、音楽の基礎能力試験（音楽学コースは、楽典・聴音・ピアノ。沖縄文化コースは楽典・音楽または舞踊の実技）と面接（出願書類を含む）により、高等学校において身につけた学力、思考力、コミュニケーション力等を総合的に評価し、合否を判定します。

3. 総合型選抜

- ・本学および志望専攻に対し、高い志望動機・意欲を有している人を対象とします。
- ・専攻試験では、音楽や芸能と文化についての調査や研究に求められる資質、学力、文章表現力を小論文及び口述試験により審査します。複数の審査員が個々に採点し、集計した結果により評価を決定します。
- ・専攻試験に加え、プレゼンテーション、入学志願者本人の記載する資料、面接を総合して合否を判定します。

◆琉球芸能専攻

【求める人物像】

- ・沖縄の伝統芸能をこよなく愛し、実演を通して自己表現をしたいと考える人
- ・沖縄の地域性を理解し、広く社会に貢献しようとする人
- ・目標に向かって、努力を惜しまず主体的に取り組む人

【入学前に身につけてほしい学習成果】

- ・各専門分野における基礎的かつ十分な演奏や演舞の能力
- ・基礎的技法と正しい知識に基づき、演舞演奏において自己を表現できる能力
- ・各専門分野における基礎知識（音楽・伝統芸能の基礎知識）
- ・高等学校の教科科目を通して修得した基礎知識と語学力

【入学者選抜区分】

- ・琉球芸能専攻では一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜及び社会人選抜を実施します。

【入学者選抜試験の基本方針と実施】

1. 一般選抜

- ・本学および志望専攻に対し、高い志望動機・意欲・目的意識を有している人を対象とします。
- ・専攻試験（実技検査）では、大学での学修に必要な技術および表現力を審査します。受験者の実演を複数の審査員が個々に採点し、集計した結果により評価を決定します。
- ・専門試験の結果に加えて、基礎能力試験（楽典）と大学入学共通テスト（国語及び外国語の2教科必須、他の教科から1科目を選択。英語はリスニングテストを含む。）、面接の結果を総合して合否を判定します。

2. 学校推薦型選抜

- ・本学を専願し、本学および志望専攻に対し高い志望動機・意欲・目的意識を有している人を対象とします。
- ・専門試験（実技検査）では、演舞演奏の基本的な技術、表現力を審査します。受験者の実演を複数の審査員が個々に採点し、集計した結果により評価を決定します。
- ・専門試験に加え、基礎能力試験（楽典）と面接の結果を総合して合否を判定します。

3. 総合型選抜

- ・本学および志望専攻に対し、高い志望動機・意欲を有している人を対象とします。
- ・専門試験（実技検査）では、演舞演奏に対する自己表現力を審査します。受験者の実演を複数の審査員が個々に採点し、集計した結果により評価を決定します。
- ・専攻試験に加え、プレゼンテーション、入学志願者本人の記載する資料、面接を総合して合否を判定します。

4. 社会人選抜

- ・本学および志望専攻に対し、高い志望動機・意欲を有し、社会経験を経た多様な世代、また多様な知識と経験を積んだ人を対象とします。
- ・専門試験（実技検査）では、演舞演奏に対する自己表現力を審査します。受験者の実演を複数の審査員が個々に採点し、集計した結果により評価を決定します。
- ・専門試験の結果に加えて、基礎能力試験（小論文・口述試験）と面接の結果を総合して合否を判定します。